

## 高知県

## JA高知県 環境制御機器を導入した担い手

## コスト



# スマート農業の実践による コスト低減で、**所得31%アップ**

JA高知県(高知県内他3JAの管内以外の地域)では、**コスト低減**に向けた農機具等の導入にかかる独自の経費助成「高知県版アグリシードリース事業」を実践しています。

その結果、春野営農経済センター管内の環境制御機器\*を導入した担い手1戸当たりの所得は、2018年度に398.5万円となり、2017年度に比べ、**31.4%の増加を実現**しました。

\*生育環境の各種データを見える化する環境測定装置や効率的省力的な灌水が行える日射比例灌水装置など品目に応じた「環境制御機器」

### 【JAの具体的取り組みと成果】

JAグループ高知では、組合員のうち認定農業者(認定新規就農者)で青色申告を行い販売高1,000万円以上という条件を満たした担い手を対象として、**生産コスト低減や規模拡大につながる農機具等の導入にかかる独自の経費助成「高知県版アグリシードリース事業」**を行っており、農機具等の本体価格のリース料最大40%を補助する仕組みとしています。

本助成事業は、自己改革の取り組みの一環として2016年度から開始し、これまでの4年間で553件、総額2億2,152万円の助成を行うことで、農業者の所得増大を支援してきました。

**コスト低減**に向けた取り組みとして、2017年度から2018年度の2年間で本助成事業により、春野営農経済センター管内の担い手31戸の環境制御機器導入に対して、**総額6,216,243円の助成**を行うことでスマート農業の実践を後押しし、**効率的な肥培管理及び病害虫予防につなげることで、肥料代や農薬代の低減**を支援しました。

その結果、1戸当たりの肥料費は、2017年度は2,650,688円でしたが、2018年度には1,817,638円となり、31.4%低減したほか、1戸当たり農薬衛生費は、2017年度の715,614円から2018年度は651,771円へと8.9%低減しました。

この取り組みにより、2017年度から2018年度にかけて、春野営農経済センター管内で環境制御機器を導入した担い手1戸当たり**31.4%の所得増大を実現**しました。

高知県版アグリシードリース事業  
助成件数、助成総額

2016年度～2019年度(4年間累計)

553件 2億2,152万円

環境制御機器導入による  
1戸当たりのコスト低減効果

2017年度

2018年度

肥料代

265.0万円

31.4%  
減

181.7万円

農薬代

71.5万円

8.9%  
減

65.1万円

環境制御機器を導入した担い手  
1戸当たりの農業所得\*

\*青色申告の所得額の平均

2017年度

2018年度

303.4万円

31.4%  
増

398.5万円



(環境測定装置を導入したハウス)



(炭酸ガス発生機を導入したハウス)

JAグループのホームページから、自己改革の成果をまとめた動画や全国のJAの取り組みがご覧になれます。

<https://org.ja-group.jp/challenge/>

発行/ JA全中(一般社団法人 全国農業協同組合中央会)



JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。